

東ZINE



COVER



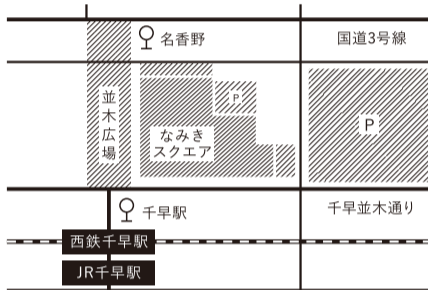
左：みゆき通りに新設された、ちょっとレトロな照明灯。右：年に一度の勅祭で参道をゆく勅使。勅祭が執り行われるのは、九州では宇佐神宮と香椎宮の二社。

なみきスクエア

なみきスクエアクラブの活動拠点、なみきスクエアは、東市民センター、千早音楽・演劇練習場、東図書館、証明サービスコーナーなどの機能を持つ複合施設です。

ACCESS

〒813-0044 福岡市東区千早4丁目21番45号
JR鹿児島本線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分
西鉄貝塚線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分



東ZINE vol.5 2022年9月28日発行 発行：なみきスクエアCLUB TEL 092-542-0224 HP <https://www.namiki-sq.jp>

香椎校区

Kashiigu Art Project

今回は10月30日～11月6日に香椎宮で開催される
アートの展覧会『「ugihsak」art exhibition kashiigu』について
主催者の浜地孝史さんと木下英大さんにお話しをお聞きました。

聞き手：古閑慶治



浜地孝史さん

福岡市出身。東京藝術大学大学院修士課程修了。西日本工業大学デザイン学部准教授。Kashiigu Art Project代表。造形活動と地域を結びつけることをテーマに活動している。

木下英大さん

福岡市生まれ。東京造形大学造形学部美術学科彫刻専攻卒業。國學院大学神道文化学部専攻科修了。香椎宮権禰宜。現代美術作家。

浜地：以前にお寺で展覧会やった時も展示した作品だけではなく、普段は見れない仏像を観にくる人も多くいて。香椎宮でも普段は入れない勅使館で展覧会を開催することで場所の魅力を引き寄せられてやってくる人と美術展を観にくる人、そういう多種多様な人が集まる場を作れば面白いと思って始めましたね。

木下：これまで「美つなく香椎宮」というテーマでやってきていて、そこには日常生活と美術をつなげたい、異なる趣味を持った人をつなげたい、香椎宮と近隣の人をもっとつなげたいという思いがあります。

実際、例えば現代美術というと普段の

生活で出会う機会はあまりありません。逆に現代美術をやっている人でも美術館やギャラリー、アートスペース以外でやることは少ない。そういう壁のようなものがあると感じていて、それがつながりあって解け(ほどけ)合っていけば良いと思っています。

浜地：そういったふうには美術や表現が地域や生活と繋がっていないとこのままやり続けていても美術はこの土地には根付かないと感じていたのも大きなきっかけの一つですね。

今回の展覧会は「新たな視点で場所をみる」と



浜地：今回はこれまでの展覧会をもう一度捉え直して、香椎や香椎宮に結びつけていることを大事にしました。僕たちは住んでいると逆にその地域の文化などを知ることが少なくなってしまうがちです。それは無意識の空気のようなものでなかなか発見しにくいんです。そこに作家の視点加わることによって再発見できる機会になれば良いと考えています。

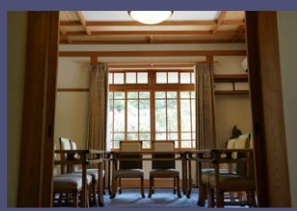
香椎宮で美術展をはじめたきっかけ

浜地さん(以下、敬称略)：僕は以前から福岡には、美術と生活の間に壁があると感じていました。あまり普段美術に触れない人とクリエイターと交流する機会を作れないかなと思い2015年ごろからお寺などで展覧会を企画していました。そこで香椎宮でも展覧会をやった面白いのではと考え、香椎宮におられる木下さんや何人かで話しながら2016年に企画がスタートしました。

木下さん(以下、敬称略)：この企画をやる上で香椎宮としては、会場の一つとなる勅使館をもっと活用したいという思いがあります。

勅使館は10年に一度の神事のために来られる勅使さんが泊まれる場所です、100年以上の歴史がある建物なのですが、10年に一回使用される以外はあまり活用されていなかったんです。

そこでただ開くだけではなく、展覧会を開催してオープンにすれば面白いんじゃないかと。



大事なのはその場所を楽しむこと

木下：僕自身も香椎宮に外のものを持ち込もうとしていた時期があったんですが、今は外で良いといわれているものを持ってくるのではなくてこの場所のできる面白いことはなんだろうと考えるようになりました。

その場所と付き合いながら、楽しむには何が出来るだろうかと考えながら行っています。

浜地：香椎宮で、いずれはこどもの絵が展示されていたり、美術ではなくても別に良くて、生活のいろんな中にある表現が見れるようになったり。そうやって融合しながら色々な視点が生まれてこの場所で文化発信やそういう面白いムーブメントが起これば良いなと思っています。

10月30日から始まる「ugihsak」art exhibition kashiigu。日常と美術の関係や地域のことを少しずつ確かめて解けていく。そういった新たな表現の可能性を感じるとともに私たちが住んでいる場所をさまざまな視点で見られるイベントになるのではないのでしょうか。

●「ugihsak」art exhibition kashiigu
日程：2022年10月30日～11月6日
場所：香椎宮境内及び勅使館

みらい探偵団

かこを調べて、みらいを推理



1



2



3



4

子どもたちが「なみきスクエア」の周辺で撮影した場面の数々。いつもの風景も、映画のひとコマにしてみると新鮮な気持ちに。
1.エレベーターに乗って、自由にいろんなポーズ！2.葉っぱでかまれたエントランスホール。
3.「なつのしょうどく」4.水がたれたのはしらであそぶ子どもたち。

子どもたちが身近な過去を調べて、これからの世界を推理する「みらい探偵団」。
今回は「なみきミニミニ映画祭」と題して昔の映像はどんなものだったか学びながら、ひとりひとりが映画監督となって、昔の映像の撮り方を使いミニ映画をつくりました。身近な風景がいつもとは違う新しい見え方がして新鮮な体験でした。最後にはミニミニ映画祭としてみんなが上映会を開催しました。

みらい探偵団の活動
なみきスクエアを拠点に活動する「遊びと学びのコミュニティスクール」。年間を通して様々な体験や活動に取り組みんでいます。
この記事は、スクールに参加している子どもたちが取材・執筆しています。



松本圭仙さん/ガーデンズ千早

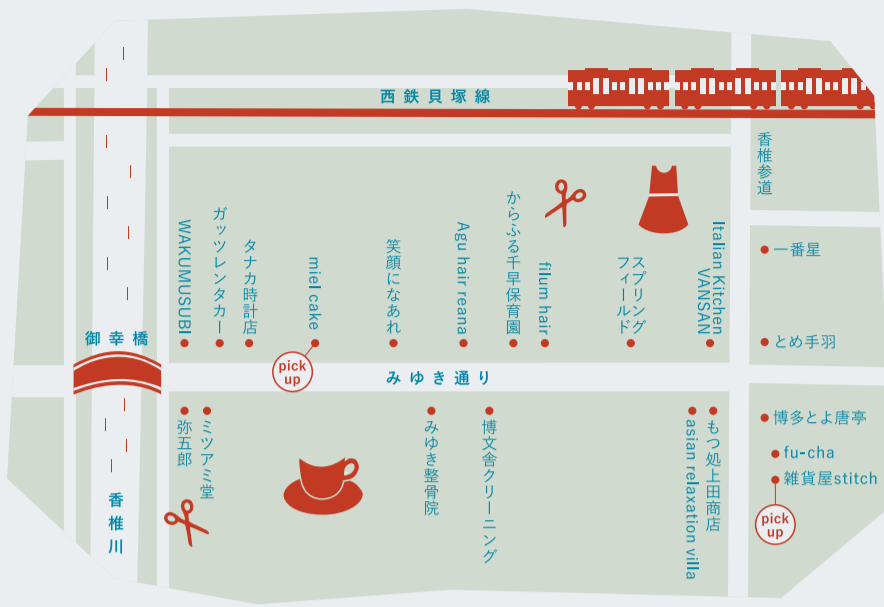
スポーツガーデン香椎跡地に建つガーデンズ千早。その施設の横にあるちはや公園の公園長を務める。ちはやをよくする公園の長として町に住まい、地域の方々一人一人が主役となるような町づくりと一緒にしていきます。



東区で暮らす

「みゆき通り商店街」

五感で楽しむ東区の景色



今回は香椎参道前の「みゆき通り」をふらりとご紹介。区画整理され新しく生まれ変わったエリアですが、商店街の面影が残り今も多くのお店が並んでいます。ぜひ皆さんもみゆき通りをめぐってみてください。

※本マップはgoogle mapなどの情報をもとに作成しております。一部載っていない店舗等がございますので予めご了承ください。

Shop Information



miel cake 千早店
2022年1月にオープンしたタルトや焼菓子などを販売している洋菓子専門店。使っている食材は、うきはやその周辺の旬な食材。季節によって商品が入れ替わるのでワクワクが止まりません。



雑貨屋Stitch
女性オーナーが切り盛りする雑貨屋さん。家族がいつも笑顔でいられるような、癒しの空間をつくる商品を多く取り扱っています。気さくな店主とお話ししながら、お気に入りの雑貨を探してみませんか？



なみきスクエアCLUB

なみきスクエアCLUBは、自分の好きなことや得意なことをかけ合わせながら、みんなのアイデアを形にしていける創造的な活動です。「アートイベント」「遊びと学び」「はじめての○○」「ひろばづくり」の4つのテーマで活動しています。

あかちゃんとママのためのほっとタイム

ママカフェ

なみきスクエアでは、乳幼児親子でゆっくりできる「ママカフェ」を開催しています。夏は冷たく冬は温かい飲み物を楽しみながら、情報交換や育児の話を楽しみながらひとときをお過ごしください。会場では、授乳スペースも設けています。お気軽にお立ち寄りください。

information

【日程】10/30、11/9、12/14、1/11、2/11、3/8
【時間】13:00~15:00 (10/30は、10:00~12:00)
【参加費】無料 【対象】乳幼児親子 【定員】8組の親子
【お問合せ】TEL: 092-542-0224



なみきスクエアに開校した、新しいアートスクール

なみきアートスクール

なみきアートスクールは、2021年5月から「なみきスクエア」に開校したアートスクールです。九州を拠点に活動する現代美術アーティストが講師となり、多様な芸術表現のあり方や柔軟な思考法、作品の作り方や展示の方法を学びます。様々な思想、人種、生き方が混ざり合う時代の中で芸術を通して世界の多様性を学び、芸術の可能性を共に探求していきます。

information

【日程】一学期:5月15日~7月24日、二学期:9月4日~11月13日、三学期:12月18日~3月12日、展覧会:3月19日~3月23日(予定)
【受講料金】通年65,000円、一学期単位(三ヶ月)25,000円
【受講者区分】年齢:15才~ 定員:15名
【お問合せ】Tel:092-542-0224 Mail: info@kodomo-abc.org



東区で食べる

東区で食べるタルティーヌ

料理研究家の宮村ゆかりさんがタルティーヌのレシピと東区の食のこぼれ話をご紹介します。

料理家

宮村ゆかりさん



千早を拠点にスパイス料理やローフードの料理教室「ミヤムの恋するcooking」を主宰。栄養士として栄養指導、レシピ開発、ケータリングなど料理家として活動中。なみきスクエアの子育て支援事業「バスクールの講師をするなど料理を通して幅広く活躍している。

Recipe Vol.5 シャインマスカットとモッツアレラチーズのタルティーヌ

タルティーヌはスライスしたバゲットなどで作るフランスなどで食べられるオープンサンド。今が旬のシャインマスカットで作る簡単なおつまみタルティーヌを紹介。



- 材料(2人分)
- バゲットスライス…2枚
 - シャインマスカット…10粒ほど(半分カットしておく)
 - モッツアレラチーズ…50g(小さくちぎっておく)
 - オリーブオイル…大さじ1
 - レモン果汁…小さじ1
 - はちみつ…小さじ1/2
 - 塩胡椒…少々
 - 生ハムスライス…2枚

- 作り方
1. バゲットは軽くトーストしておく。
 2. Aの材料を和えておく。
 3. 1に2とちぎった生ハムをのせて完成。

～香椎みゆき通り商店街～香椎には香椎駅を中心に多くの商店街がある。その中のひとつに香椎川から香椎参道にかけて「みゆき通り商店街」がある。区画整理が行われ、新しく生まれ変わったようだ。小さな商店街だが、美容室やブティックなどいろいろな店がある。特に食に関係する店舗は、惣菜、青果、ケーキ、パン、飲食店など様々だ。香椎宮が近いので、惣菜やパン、ケーキなどをテイクアウトして参道を散歩するのにもびったりの商店街だ。実際私も商店街を歩いてみた。入口の惣菜屋を覗き、八百屋ではこれから旬の野菜や果物、今日のおすすめなどを店主と話しながらい物した。途中の可愛いケーキ屋を眺めながら、最後に商店街の出口にある人気のパン屋でパンを購入

した。こちらでも、おすすめのパンや、パンを使ったおすすめの料理など親切に教えてもらった。スーパーと違って、質問したり、会話を楽しみながら買い物出来るのが対面で接客してもらいやすい商店街だからこそだと思う。特にこのみゆき商店街はゆっくりと時間が流れているような印象がある。購入した野菜やフルーツとパンで、さあ今日は何を作ろうかなとワクワクした気持ちで商店街を出た。気候のよい秋に散歩がてら通りを散策してみるのもおすすめです。

